

## 第2回懇談会の主な意見、提案

- ライフラインとして、市の事業の中でも優先順位が高いと思われる。市として施設を更新していかなければならない。
- 施設の計画的な更新が重要であり、見学した施設は更新の優先順位が高いと感じた。
- 施設の効率化に向け事業区域を統合することも一案ではないか。
- 災害時対応、危機管理も不安要素があると感じた。施設や体制の強化により、非常時でも全域で安定給水が可能な環境を。
- 持続可能な水道事業サービスを可能にするために、コスト縮減について工夫していくとともに、利用者の理解を得ながら適正な料金を保っていく必要がある。
- 世代間負担の公平性を確保できるよう、財源を確保しながら施設の更新をしていく必要がある。
- 湯沢市の水道施設の存続を含め、近隣市町村との連携の検討も必要と思われる。
- 我々の生活を水道という観点から守っていただいておりますと感謝しかない。

⇒ 以上のような意見をふまえて、水道ビジョンを作成していく